

<http://www.zenrosai.coop/web-zenrosai>

zenrosai

WEBZENROSAI 協力団体向けWEBマガジン
誌面はWEBでも
ご覧いただけます。

2018.JAN Vol.98



第33回(2017年)全労済「子ども絵画コンクール」

〈テーマ〉地球にやさしい「私たちの花と緑の街」

〔大阪市教育委員会賞〕 森本 未夢さん(大阪府・大阪市立みどり小学校・6年)

トップインタビュー

**福祉共済組合と本部が
一体的に自主福祉運動を展開**

日本化学エネルギー産業労働組合連合会
(JEC連合)

平川 純二 会長

特集

**2017年度
全労済はここが変わります!**

広域労組における
共済制度推進の実例〔第28回〕

**全日産・一般業種
労働組合連合会**(日産労連)

全労済中央推進会議NEWS

2016年度 第2回常任委員会
第75回中央推進会議

ファイナンシャル・プランニング講座
介護と仕事の両立に向けて
(前編) 老親介護の備え

訪問先のご近所グルメ

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

トップインタビュー

福祉共済組合と本部が一体的に 自主福祉運動を展開

日本化学エネルギー産業労働組合連合会(JEC連合)

平川 純二 会長

4

特集

2017年度 全労済はここが変わります!

8

広域労組における共済制度推進の実例〔第28回〕

全日産・一般業種労働組合連合会 (日産労連)

10

全労済中央推進会議NEWS

2016年度 第2回常任委員会 第75回中央推進会議

14

新任調査役紹介

15

ファイナンシャル・プランニング講座

介護と仕事の両立に向けて

(前編) 老親介護の備え 生活経済研究所長野 塚原 哲

16

訪問先のご近所グルメ

東京・人形町 月島もんじゃ もんじゃらけ

18

zenrosai Vol.98

読者アンケート&プレゼント

19

WEBZENROSAI 誌面はWEBでも
ご覧いただけます。

<http://www.zenrosai.coop/web-zenrosai>

就任のご挨拶

全労済 常務執行役員
濱田 毅司

日頃より、全労済の諸活動に対して格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

2017年8月29日の第125回全労済通常総会におきまして、常務執行役員を拝命し、全労済本部組織推進部を担当することとなりました濱田でございます。

本部へ着任する前は、全労済中日本事業本部を担当しておりました。2017年9月の組織機構改革に伴い、全国各地で新たに統括本部・推進本部が発足しましたが、全労済本部においても協力団体・共済代理店の皆さまなどを担当させていただくことになりましたので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

現在、全労済では「Zetwork-60」(2014年度～2017年度中期経営政策)の最終年度にあたり、その完遂に向けた取り組みと、2018年度からの次期中期経営政策(New-Zetwork)に確実につなげていけるような準備を同時に進めております。

また、2017年9月29日に全労済創立60周年を迎えたことから、全労済の社会的価値のさらなる向上を目指し、「創立60周年を契機とした感謝・還元」「生活協同組合としての役割発揮」「新しい全労済づくり」につながる企画・仕組みを検討し、実行しているところでございます。

全労済を取り巻く環境は依然として厳しく、課題は山積しておりますが、組合員の皆さまと全労済が、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念を共有し、営利を目的としない保障の生協として、引き続き組合員とご家族の皆さまの暮らしに「安心」をお届けいたします。

これからも組合員・協力団体の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



全労済 中央推進会議 議長
神保 政史
(じんぼ まさし)



全労済 中央推進会議 副議長
高橋 了
(たかはし りょう)



全労済 中央推進会議 副議長
清水 昭男
(しみず あきお)



全労済 理事長
中世古 廣司
(なかせこ ひろし)



全労済 専務理事
崎田 弘
(さきた ひろし)



全労済 常務執行役員
濱田 毅司
(はまだ たけし)



全労済 常務執行役員
宇田川 浩一
(うだがわ こういち)

あけまして
おめでとう
ございます

福祉共済組合と本部が一体的に 自主福祉運動を展開

化学・エネルギー関連産業の組合でつくる日本化学エネルギー産業労働組合連合会（JEC連合）の会長を務める平川純二さんは、日本労働組合総連合会（連合）の副会長としても活躍されています。JEC連合の歴史や理念、取り組んでいる自主福祉運動、全労済に望むことなどについてお話を伺いました。



多様性に対応するとともに、
組織拡大と政策実現への注力

——あけましておめでとうございます。まずは、新年の抱負をお願いします。

平川 ●あけましておめでとうございます。日本化学エネルギー産業労働組合連合会（JEC連合）は今年の目標として、多様性に対応した組織にすることを掲げています。昨年、女性の中央

執行委員を4名増やし、2名から6名にしました。中央討論集会などのイベントで役割を経験する中で、活躍の場を広げ、女性の視点から意見を言ってもらいたいと期待しています。

運動方針に係わる課題は2つあります。1つ目は組織拡大です。2年間で5,000名増加の目標に対し、約2,000名にとどまっているのが現状です。JEC連合本部の組織局が情報を得て拡大していくという方法では限界があるので、産業別に分

かれている部会が中心となり、関連する企業の組織に関する情報を得て、重点的に広げていくという対応で進めています。具体的には部会毎にリストを出していただいて、誰がどのように声掛けしていくかというところまで打ち合わせを行い、プロジェクトの中で確認しながら進めています。ツテを頼りに実際にお会いして感触を確かめながら、組織拡大を目指しており、少しずつですが成果が上がってきています。



上●JEC連合事務所表札
右●JEC連合の入るビル

連合では、「2020年までに1000万連合の実現」を目指していますが、まだ道半ばです。JEC連合は連合の副会長組織でもあるので、何とか頑張って組織を拡大していきたいと思っています。

世話好きが目にとまり
労働組合の執行部に

——平川さんのこれまでの歩み、とくに労働組合との関わりについて、お聞かせください。

もう1つの課題は政策実現に向けた政治への参画です。これまででは、フォーラムという形で議員の集まりを作っていましたが、それだけでは政策実現に本気で取り組んでいただけないだろうと考え、重点支援議員団を組織しました。地方連絡会にお願いして、小選挙区選出議員の選挙応援をする体制を整えつつありましたが、2017年の衆議院議員選挙では突然の解散・総選挙であつたために十分とは言えませんでした。改めて今年は、働く者の声を拾い上げて政策に反映してくれる政治家の皆さんとの連携を強めていかなければいけないと思っています。

平川 ●私は1959年に秋田県能代市に生まれました。幼少の頃、父親を亡くして母子家庭で育ちましたので、高校を出たら働くつもりでいました。能代工業高校に学びましたが、進路指導の先生に当時の日本石油株式会社への推薦をもらい、横浜の日本石油根岸製油所に就職しました。

だったので幹事役を勤めていました。それを見た労組役員から声がかかり、23歳で青年部に、26歳で支部執行部に入りました。当時は平和活動が盛んで、逗子の池子弾薬庫跡地問題や原子力空母の横須賀母港化反対運動などに参加しました。28歳で専従の支部書記長になり、その後、中央本部役員になりました。一時、職場に戻り、また組合役員になるということを何回か繰り返し、たが、38歳の時、「会社の統合があるから力を発揮してくれ」と言われ、日本石油労組の副中央執行委員長として呼ばれました。その半年後、日本石油と三菱石油が統合して日石三菱に

なりました。その後、40歳で初代委員長になりました。「新しい組合にするのだから、これまでのことは捨てよう」といったものの、「これだけは譲れない」というものが双方にあつて、まとめるのが大変でした。

その2年後には興亜石油と東北石油が加わって新日本石油になり、新しい労組の委員長も4年間務めました。もう会社合併はないと聞いたので、安心して委員長役を後任に任せて職場復帰し、根岸製油所で技術系の仕事を6年間、担当しました。その後、東日本大震災翌年の2012年にJEC連合副会長になり、2016年に会長に就任して現在に至っています。

ネットワーク型の産別として
労働組合運動を展開

——JEC連合の歴史と理念についてお聞かせください。

平川 ●JEC連合は新化学、石油労働、全国セメント、化学リーグ21の4産別が結集し、2002年10月に化学エネルギーを中心とした産業別組織として発足しました。きっかけは1989年の連合誕生です。連合の



JEC連合（日本化学エネルギー産業労働組合連合会）会長
平川 純二（ひらかわ じゅんじ）さん
出身労組：JXエネルギー労働組合
プロフィール
1959年 12月秋田県能代市出身、能代工業高校卒業後、日本石油株式会社に入社
1982年 日本石油労働組合 青年部に入部
1988年 日本石油労働組合 根岸支部書記長
1998年 日本石油労働組合 副中央執行委員長
2000年 日石三菱石油労働組合 中央執行委員長
2012年 JEC連合 副会長
2016年 7月JEC連合 会長に就任
趣味：登山

加盟組織が79あり、関連する産業の働く仲間をもう少し結集しようという方針が出されました。そこで、化学産業も一緒になる必要があるのではということ、産別トップの交流が始まりました。1993年に合化労連、全化同盟、化学総連、化労研、新化学が「それぞれの組織を存続させながら連携しよう」と化学連合を結成し、安全性の問題も含めた要請行動を起こして一定の成果を得ました。

連合への登録を一本化しようとしたが、なかなか進展せず、全化同盟と化労研はCSG連合を作りました。このため、2001年に化学連合は解体してしまいましたが、一方で「化学の力を一本に集めるという目標は捨てたくない」と、セメント、石油も含め、化学エネルギー全体の集まりで何かできないかと模索が続き、そして2001年、JECの基礎となる化学エネルギーの関連産別の結集を目指した懇話会ができ、4産別で議論を続けた結果、2002年にJEC連合が誕生したのです。

JEC連合は結成当初からネットワーク型の組織形態をとっています。石油、化学、セメント、医薬・化粧品、塗料、中小一般の6つの業種別部会があり、それぞれが部会方針を作って独立

した活動を行っています。部会には独立した執行部があり、予算も独立している、部会の三役で決めれば、やりたいことが自由にできるという風通しの良い組織です。

また、部会を構成する産業が抱える課題で緊急に動かなければいけないというような時、スピーディーに対応できるという特徴があります。たとえば昨年は、厚生労働省が出した「薬価改定を毎年実施する」という基本方針に対し、医薬・化粧品部会が緊急要請という形で談話を発表したり、国會議員に緊急要請したりしました。あのようなスピーディーな対応ができるというのはネットワーク型のよいところだと思います。とは言っても、部会がばらばらだと一体感がないという声もありますので、本部としては横のつながりを促すために地連の活動を大事にしたり、連帯活動や研修、自主福祉活動など、部会単位ではできないことを行っています。

「JEC生命共済パーフェクト」きめ細かな対応を展開

——JEC連合における共済への取り組みについてご紹介ください。

会議後には必ず時間を取って、全労済推進委員会の報告をしてもらい、その時点での取り組み状況、加入状況などを確認しています。

また、中央執行委員会では全労済中央推進会議の報告も行われ、一体感、使命感を持つて自主福祉活動を進めています。

助け合いや保障の大切さを もつと二人一人に伝える機会を

——60周年を迎えた全労済に対して、「要望やご意見などを、率直に忌憚なくお聞かせください。」

平川 ●私が支部役員をしていた頃が、全労済や労金の皆さんと一番深く関わっていたと思います。通帳の書き換えとかで職場の方と接触する機会が多い労金職員に比べ、全労済は組合員と1対1の接触が少ないのかなと思います。もつと二人一人に助け合いや保障の大切さを伝える機会が必要ではないでしょうか。

本来、組合役員がそれを伝えるべきですが、専従者がかなり減って難しいのが現状です。そこで、他の組合の成功事例を紹介するとか、企画の8割くらい作って「支部の役員の方、これで



平川 ●JEC連合には、共済活動を進める実務部隊として、福祉共済組合という独立した組織があります。

福祉共済組合に携わる職員は本部の業務と兼務しており、JECの運動方針の中の「自主福祉運動の推進」と合致して行っている、一体感をもって活動しているという特徴があります。

福祉共済組合では年4回、常務会と理事会を開いていますが、その中で、「この会議室で方針などを決めるだけでなく、外部に出て自主福祉運動の大切さが感じられる研修などを行っては」という意見がまとまり、2016年から外部研修が始まりました。1年目は日本の生活協同組合運動や労働組合運動の草分けとなった賀川豊彦の足跡を伝える神戸の賀川記念館を訪ね、「助け合い」の出发点を確認しました。

2017年には熊本へ行き、熊本地

1回やってみませんか」「こういう形で生活保障の相談会を開いてみませんか」とか、具体的に取り組みの提案をしていた、とありがたいです。組合役員がなかなか動けないという現状を見ていただき、対応していただければと思います。

全労済の保障制度にはよいものがたくさんあります。私は25歳の時に車を買って以来、マイカー共済に入っています。ずっと無事故できたのですが、2016年夏に妻が自動車で接触事故を起こしました。その際は、すばやく対応していただき、とても助かりました。低廉な掛金でサポートも充実しているということを、機会を設けてもつと伝えられればと思います。

石油労連ができた時、ねんきん共済を始めることになり、その推進役になりました。あの頃はまさか公的年金が今のようになるとは想像もできませんでした。あの時、ねんきん共済に入って本当によかったと今、改めて実感しています。

万一だとか、将来のために備えるということは、若い組合員にはなかなか実感がわかないと思いますが、入ってよかったという実感を伝えていく機会を増やしていけば、ちゃんと響いてくれる人もいます。今は情報が

震で被災した加盟労組の支部長から当時の様子や工場復旧までの努力などについて聞きました。現地の全労済の皆さんにも来ていただき、被災調査活動、被害を査定する難しさ、給付時に聞かれた「助かった」という被災者の声などを話していただき、大変有意義な会でした。今後も福祉共済の気持ちを実感でき、活動を推進する力になれるような場所を選定し、こうした研修を行っていききたいと思います。

スケールメリットを最大限に活かした保障制度「JEC生命共済パーフェクト」は3年前にリニューアルしました。新規加入の場合は全員一律加入を原則にしながら、3年間で5,500名の加入を目標に掲げました。残念ながら約3,000名の加入となりました。額5,000円台に設定できました。万一の場合の共済金も一時金で受け取る「一括プラン」だけでなく、年金方式の「分割プラン」も選べるようになり、本当にすばらしい制度だと思っておりますが、そのよさがなかなか伝わりません。もう一工夫あるのではないかと、昨年度から全労済と一緒に、取り組み

非常に多い時代ですが、保障とはどういうものか、助け合いの精神でやっていくというのはどういうことなのかを組合員一人一人に伝える機会がもつと増えていけばいいかなと思います。

——会長が言われるように、信頼できる人の言葉は信用性が高いので、実際に全労済の運営の中で生かしていきたいと思っています。どうぞ、ご期待ください。本日はありがとうございました。



全労済事業推進担当
全労済組織推進部 産別推進課
渡邊 健志



全労済 調査役 渡邊 幸一

聞き手

2017年度全労済はここが変わります！

全労済は「Zetwork-60」で掲げた組織改革を2017年9月に実行し、これまでの46単位本部から6統括本部へ再編しました。
また、2018年1月からは新システムの導入により、皆さまの利便性が向上します。
このページでは、ダイジェストとしてその内容をご案内します。



組合員・協力団体の皆さまにとって、より身近な存在となるために ～統括本部への再編、組合員接点 担当職員の増員～

日本全国を6つの統括本部へ再編

日本全国を6つの統括本部に再編して経営の基本単位とし、本部・統括本部の2部門制としたうえで、各統括本部は域内エリアを一体的に捉えた活動をおこないます。
各都道府県においては、推進本部を新設してきめ細かな事業推進活動と労働者自主福祉運動を展開します。

また、間接部門(事務・企画・総務など)を再編し、組合員接点部門(共済ショップ職員・協力団体担当職員など)へ、2014年比130%の増員を目指して職員をシフトしました。
これらを契機として、「事業の回復」を果たし、「労働者自主福祉運動のさらなる拡大・発展」の実現を目指して、組合員・協力団体の皆さまとともに取り組んでまいります。



関西統括本部	滋賀、奈良、京都、大阪、和歌山、兵庫
中四国統括本部	島根、鳥取、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州統括本部	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

北海道・東北統括本部	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東統括本部	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
中部統括本部	長野、静岡、富山、石川、福井、愛知、岐阜、三重

各都道府県ごとの46単位本部

これまでの全労済は、各都道府県における46単位本部を経営の基本単位としながら、本部・事業本部・県本部の3部門制で活動をおこなってきました。

新潟県を除く46都道府県本部

これらの課題解消を目指して

組織課題

- 重複業務の見直しによる効率化
- 意思決定の迅速化など

※新潟県は、新潟県総合生協が全労済から業務を受託して運営しています。

全労済創立60年「感謝キャンペーン」実施中！

2017年9月29日に、全労済は創立60年を迎えることができました。この間の感謝を込めて、協力団体の皆さまへ「ともに歩んで60年 感謝キャンペーン」をご案内しております。
今日まで全労済を導いていただいた組合員ならびに協力団体の皆さまへ心より感謝申し上げますとともに、これからも皆さまとともに歩んでいけるよう、引き続きのご協力をお願いいたします。

※キャンペーンの詳細につきましては、全労済推進担当者までお問い合わせください。



電子サイン導入(ペーパーレス手続き)

- 電子サインの導入(ペーパーレス手続き)により、印鑑をご持参いただかなくてもその場で手続きが可能となります。

印鑑が無くても
手続きOK!



※いずれも、全労済職員と対面でお手続きをする場合に限りです。また、一部の

初回掛金の入金方法拡大



ペイジー払い



コンビニ払い



クレジットカード



J-Debit
デビットカード

- これまでの現金払いや口座振替以外の入金方法も選べいただけます。

共済およびお手続きではご利用いただけません。

2018年
1月
から

初回掛金の入金方法を拡大し、
電子サインを導入しました。

新システム稼働開始！

全日産・一般業種労働組合連合会

広域労組における
共済制度推進の実例

第28回

全日産・一般業種
労働組合連合会
(日産労連)

日産労連

全日産・一般業種労働組合連合会（日産労連）には、全国7地域本部体制のもと、約13万人の組合員がいます。

2018年は、「リック火災共済」の改定を迎えたスタートの年です。これを機に、全労済との関係強化を図ります。

共済推進の特徴や、今後の課題、展望などについて、郡司典好・日産労連会長、佐野雅人・リック局局長、沼田裕二・リック局部長にお話を伺いました。

日産労連の歴史と理念

——あけましておめでとつございま
す。新年を迎え、まず日産労連の今年
の抱負をお聞かせください。

郡司 ●あけましておめでとうござい
ます。全日産・一般業種労働組合連合
会(以下、「日産労連」)では、昨年9月
に新たな組織運営が始まりました。
日産労連・部品関連労働組合(部労)
が52年の単一化に幕を閉じ、94労組
が日産労連への直接加盟となり、私
が会長に就任しました。

組織も3階建てから2階建てに変わり、部労も含め全国7地域本部体制（北海道・東北、北関東、関東、神奈川、静岡、中部・近畿、九州・中四国）の7つのブロックに分け、各地域に本部を置く体制となりました。これに伴い、従来の部労経由ではなく、各直接加盟の労組委員長に提言しなければ、物事が周知されなくなりました。

高倉前会長は、「愛と信頼、そして勇気が大事」と唱えておりましたが、その精神を受け継ぎ、「チーム日産労連」としての組織づくりが今後の最大の課題です。今年は、まずその基盤づくりを着実に進めたいと思います。

——日産労連の歴史と理念について
お聞かせください。

郡司●戦後、占領軍の民主化政策に伴い、労働組合が次々とつくられました。自動車産業では、全日本自動車産業労働組合（全自動車）が結成され、日産自動車も日産分会として活動していました。

しかし、財政金融引締政策（ドッジプラン）やデフレ化により、事態が急変します。日産グループでも、人員削減・人員整理、賃下げによる無謀な労使紛争が活性化しました。やがて、ノーワーク・ノーペイの原則による「四十日闘争」、さらには、歴史上深い傷を負った「日産争議（百日闘争）」に突入します。組合員の生活は一層困窮化しました。

この時代を経て、働く人々の生活を守ろうと、新しい組合づくりがスタートし、「全自動車」に代わり、日産自動車労働組合（日産労組）が結成されました。

この日産労組の結成にあたり



全日産・一般業種労働組合連合会(日産労連)会長
郡司 典好(ぐんじ のりよし)さん

つの綱領と7つの運動の基本原則」にある「われわれは民主主義を育成強化し、人間の尊厳が擁護される福祉社会の建設を目指す」によるものです。これは、民主主義を日本の隅々まで浸透させるよう労組が努力し、人間が人間らしく生きられるよう福祉社会の建設を目指していくことを意味しています。日産労連では、この綱領と原則に基づき、ラ

イフサポ[®]ート活動を推進しています。

この間の貴重な体験や教訓を活かし、日産労組は関連する販売会社や部品メーカーなど、各企業の仲間と一緒に一つの組織をつくる努力を重ね、現在の日産労連の初期にあたる「自動車労連」を結成しました。

やがて、自動車労連の名称を現在の「全日産・一般業種労働組合連合会（日産労連）」に改め、2005年に創立50周年を迎えました。

日産労連の 福祉運動の特徴

——日産労連の福祉運動の特徴について、お聞かせください。

え、幸せを広げていこう、といった機運があつたのだと思います。こうした当時の理念は、今の組合につながっています。つまり、先輩方は、

郡司●自動車労連のあった頃、1967年の総合共済の立ち上げに続き、1976年に福祉基金が発足し、同時に火災共済がスタートしました。こうした活動は、日産労連の「5

そこで、組合を通じてサポートできるよう、福祉基金を立ち上げ、組合員一人あたり組合費以外に月1000円をいただき、それを原資に毎年クリスマスチャリティ公演を行ってききました。

初回公演は、1976年に当時の日産の自動車「ブルーバード」にちなみ、『青い鳥』を日生劇場で行いまし

① 真に組合を愛する者は、真に企業を愛する

② 明るい組合、明るい生活

③生産性の向上による源泉を確保し
ての賃上げ

の3つのスローガン(主なもの)のもと、組合員の幸せのためには、企業の発展が不可欠である、として506名が共感し、立ち上がったのです。まさに日産労連の歴史の原点だと思います。

た。この年に無料で8,000人の子どもたちを招待し、大盛況だったようです。

今年で42年目(累積約130万人)となったクリスマススチャリティ公演には「福祉の心を送り届けたい」という思いが引き継がれています。

舞台のセッティングや会場統制も全てボランティアで、組合員や定年退職した組合員もおります。スタッフも直接活動に参加し、「福祉の心」を実感しています。

——共済活動についてはいかがで
しょうか。

郡司 ●時代背景とともに、働く人の環境が大きく変わってきています。

①グローバル化により海外を含め事業基盤が変わるなど、企業形態の変化

② 正社員、非正規など労務構成の大きな変化

などです。同時にワーク・ライフ・バランスも変化し、これまでとは違う新たな生活や将来への不安が生まれていくのではないのでしょうか。

一方で、共済は何十年と基盤を変えていません。社会の変化とともに、今こそ正社員を軸とした従来の共済のあり方を考え直していく、よいチャンスと捉えています。



上●リック局のマークと
マスコットキャラクター
「リックリッキー」
左●日産労連の組合会館



日産労連・リック局の 火災共済改定の取り組み

——続きまして、日産労連の「ライフサポート活動」を行っているリック局のお二人に伺います。まず、今年の抱負をお聞かせください。

佐野 ●2018年は、「リック火災共済」の新制度スタートの年です。制度改定により自然災害部分の保障を整備したため、掛金が高くなるイメージが生じ、加入者が減少する恐れがあります。とはいえ、一般の地震保障に比べ、掛金については充分魅力のある制度ですので、今後加入の拡充をすすめていきたいです。

また、「リック生命共済」も翌2019年1月より改定を予定しています。入院の免責がなくなり、初日から給付が可能になります。今年は、この2つを目玉として取り組んでいく予定です。

——火災共済の改定における、経過と取り組みについてお聞かせください。

佐野 ●そもそも、今回の改定は、東日本大震災がきっかけでした。この震災で、40億円ほどの給付を行い、剰余金が大幅に減少しました。今後、南海

トラフや首都直下型などの大地震が来ると言われています。その際、加入者に給付金のお支払いができない状況になるという恐れから、全労済の全面的な協力のもと、今回の改定に踏み切りました。

沼田 ●改定に向けて、掛金負担と保障額の関係をどうするか、2年ほど議論を尽くした結果、有意義な制度になりました。

一方、40年という長い歴史の共済制度なので、加入者の加入年数も長くなっています。中には、リックの共済は、安い掛金で、火災・地震・台風にも対応できるという従来のイメージのまま、今回の制度改定でも、自動継続だと思っている方もいます。新しい制度だけに、正しい理解を促していきたいと思っています。

共済推進における 苦労や課題

——共済の推進において、特にどのようなことに苦労されていますか。

佐野 ●まずは、組織できちんと動いて行くことが大事だと考えます。本部、地域本部から、各労組に様々なことが発信され、各労組が委員長を中心に組合員にきちんと伝えなくてはなりません。その展開をしやすくするた

——最後に、全労済に望むことをお聞かせください。

沼田 ●全労済とのお付き合いは長く、その都度、親身に対応していただき、感謝しております。一方で、「リック火災・生命共済」の制度も長い歴史の中で定着しており、地方では全労済との連携が難しかった部分もあります。

今回、「リック火災共済」の改定に伴い、提携割合の見直しがありました。「制度内容、給付基準など、全て全労済に準じる」ため、従来の制度とは大きく異なり、今後は日産労連・リック局だけでは制度の説明や、対応が不十分となります。

そのため、全労済の方にお越しいただき、各労組役員の集まる中、全国9カ所で「ライフサポート研修会」を開きました。そこでリック局から改定に至った経緯をはじめ、募集時の注意点を紙の書き方、回収方法を説明し、全労済より3つのコース制度や給付内容まで、細部に渡りご説明いただき、各労組に持ち帰ってもらいました。

これは、「リック火災共済」改定に伴う新たな試みであり、今後とも適切れることなく、全労済と連携して、幅広く組合員のフォローをしていきます。

佐野 ●日産労連は、自動車総連の中



リック局 局長
佐野 雅人 (さの まさひと) さん

め、現場の意見も取り入れつつ、本部がいくつかの工夫を行っています。

具体的には、わかりやすい加入案内時のチラシを作成し、掛金のメリットなどをご案内しています。

また、日産労連のホームページでは、「リック生命共済」の加入シミュレーションができます。組合員が家族構成や年収を入力すると、どのくらいの保障が必要か、見直しをする、どの程度安くなるか、など一目でわかります。

さらに、火災共済の制度改定案内において、リック局だけでは対応できない点は、全労済につながるフリーダイヤルも設置しました。

定年退職した組合員の組織「エルダークラブ」にも案内を入れています。各ブロックの代表の方や、地域ごとの幹事の方を通じて説明しています。時には「ふれあい訪問（家庭訪問システム）」などで、説明することもあります。

で、一般業種も含めて中小労組が多い組織です。353労組で約13万人のうち、組合員300名以下の労組が7割強、100名以下でも4割強という実態です。こうした中小の労組は非専従役員のところが多く共済の加入率も遅れがちです。

大手労組は、専従役員もいて心配は少ないですが、中小の労組といかに連携を密に取れるかが今後のカギではないでしょうか。

今回の「リック火災共済」の改定を通じて、全労済に対する認識をもつと強め、5年後、10年後にあの時が分岐点だったと言えるようにしていきたいです。

「共存・共栄・共生」の 精神を引き継ぐ

郡司 ●今後は、先ほど申し上げた労務構成や働き方の変化に対応できる「共済のあり方」が必要です。

雇用形態によって、共済そのものに格差が生じてはなりません。今こそ、「共に支え合う」という共済の原点に立ち返る時期だと思います。

日産労連には、グループ組織もたくさんあります。メーカーのみならず、販売、部品、輸送、サービススタッフなど様々な業種の人が集います。組合員が公正なパートナーシップのもとで、働いていてよかったと思える

——新入組合員の取り組みについては、いかがでしょうか。

佐野 ●本人の同意のもと、「リック生命共済」の「死亡」が400万円、「入院」が日額5,000円というサービス型に1年間無料で加入してもらいます。若い新入組合員は健康で独身の方がほとんどで、一般的な生命保険の話も興味がないうえ、持ち家もないため火災共済の加入にもつながりにくいですね。

1年間無料で保障をつける権利があることで、加入しない組合員にも説明できる機会が生まれ、加入した人には、実際に安い掛金で保障を受けられると認識してもらえます。

この新入組合員のサービス型制度は、2010年にスタートしました。5年間は暫定的でしたが、規約も見直し、現在では恒久的にできるようになりました。

しかし、1年間無料であっても、加入率は約70%、そのうち1年後の継続が約55%と、1年後に「リック生命



リック火災共済パンフレット

ことが大事です。そこに、復興闘争以来、グループ全体に脈々と引き継がれてきた「共存・共栄・共生」の精神が求められています。

「共済活動」を見直し、次世代にどう種まきをしていったらよいか、考えなくてはなりません。

——本日はお忙しいところ、ありがとうございました。これからも、日産労連のご発展と、皆さまの益々のご活躍をお祈り申し上げます。



全労済 調査役 **齊藤 雄治**



全労済 調査役 **渡邊 幸一**



全労済事業推進担当
関東統括本部 広域推進部広域推進二課
井上 弘司

2016年度

第2回常任委員会

2017年8月23日(水)、13構成組織15名の出席により「2016年度第2回常任委員会」をTKP新宿カンファレンスセンターにおいて開催しました。

議事内容

- 全労済中央推進会議「2018年度「2021年度中期経営政策(案)」の策定に向けた当面の日程について
- 全労済中央推進会議「2014年度「2017年度中期経営政策」の振り返り総括(評価・課題)に向けて
- 常任委員会での検討が必要・検討がふさわしいと考えられるテーマについて
- 第76回中央推進会議(2018年5月開催予定)での答申に向けて、全労済中央推進会議としての「2018年度「2021年度中期経営政策」(中央推進会議として取り組み重点課題・施策・取り組みなど)の策定に向けたスケジュールなどについて確認がされました。

第75回中央推進会議

2017年11月8日(水)、23構成組織25名の出席により「第75回中央推進会議」を全労済会館において開催しました。

全労済中央推進会議 2017年度・2018年度 役員および委員について

- 「全労済中央推進会議
役員選出委員会」開催報告について
- ①2017年度
第1回役員選出委員会

表1■全労済中央推進会議 議長・副議長

役 職 名	構成組織名	氏 名
議 長	電機連合	神保 政史
副議長	基幹労連	高橋 了
	私鉄総連	清水 昭男

※太字は変更となった役員 (敬称略・順不同)

表2■全労済中央推進会議 常任委員会

役 職 名	構成組織名	氏 名
委員長	JEC連合	酒向 清
副委員長	UAゼンセン	大濱 直之
	JAM	上野 啓治
常任委員	電機連合	岡本 昌史
	JAM	相羽 迅人
	基幹労連	椎野 幸作
	UAゼンセン	飛田 洋一
	私鉄総連	福田 英樹
	JEC連合	宮腰 雅仁
	自治労都市交評	栗原 勝
	交通労連	貫 正和
	全農林	渡邊 由一
	自治労全国一般評議会	亀崎 安弘
	全日本海員組合	野口 大輔
	全建総連	西 雅史
	運輸労連	福本 明彦
	ゴム連合	藤田 直治
	全駐労	清水千代宣
	全国港湾	市川康太郎
	全電線	石井 直樹
	印刷労連	穴戸 良太
	新聞労連	相川 和男
	建交労	廣瀬 肇
	サービス連合	千葉 崇
	自動車総連	川崎 俊輔
	電力総連	石塚 弘子

※太字は変更となった役員 (敬称略・順不同)

表3■全労済中央推進会議 委員

構成組織名	氏 名
紙パ連合	久米 賢一
航空連合	川原 鉄平
国公労連	橋本恵美子
国税労組	大阪 哲哉
新運転	浦田 司
税関労組	山内 健
全日通	小水内長功

※変更となった中央推進会議委員のみ記載 (敬称略・順不同)



第75回中央推進会議

報告内容

●中央労福協挨拶・報告

今回より中央労福協の花井事務局長・栗岡事務局次長がオブザーバーとして参加され、ご挨拶の中で中央労福協の活動をご紹介いただきました。



中央労福協
花井 圭子 事務局長

●全労済中央推進会議

「2017年度構成組織の実態調査 および取り組み計画」について

50構成組織のうち、44構成組織から「構成組織の実態調査および取り組み



全労済
中世古 廣司 理事長



中央推進会議
神保 政史 議長

議事内容

●全労済中央推進会議

「2017年度取り組み状況と 具体的活動に向けて」(案)

全労済中央推進会議「2017年度活動計画」にもとづくとともに、今年度的大型台風による甚大な被害状況など自然災害の脅威が身近になっていることを踏まえ、各構成組織における災害時無保障者の解消に向けた取り組みの継続について確認がされました。

取り組みにあたっては、前年度に全労済中央推進会議として作成した「地震対策新聞形式チラシ」を引き続き活用し、未取り組みの傘下単組・支部へ展開をしていくことについて確認がされました。

●全労済中央推進会議 全労済創立 60周年記念事業開催(案)について

全労済創立60周年の周年事業と連動した中央推進会議における記念行事として、記念講演などの検討をおこないました。

新任調査役紹介

全労済 調査役 操谷 孝一



略 歴

1984年 9月 川崎製鉄阪神労働組合 執行委員
1988年 9月 川崎製鉄労働組合連合会 中央執行委員
1996年 9月 同 書記次長
2000年 9月 日本鉄鋼産業労働組合連合会 中央執行委員
2002年 9月 川崎製鉄労働組合連合会 書記長
2003年 9月 JFEスチール労働組合連合会 中央副執行委員長
2006年 9月 同 書記長
2010年 9月 同 中央執行委員長
2014年 9月 日本基幹産業労働組合連合会 中央副執行委員長
2017年10月 全労済 調査役

2017年10月1日より全労済調査役に就任いたしました基幹労連出身の操谷です。どうぞよろしくお願いいたします。

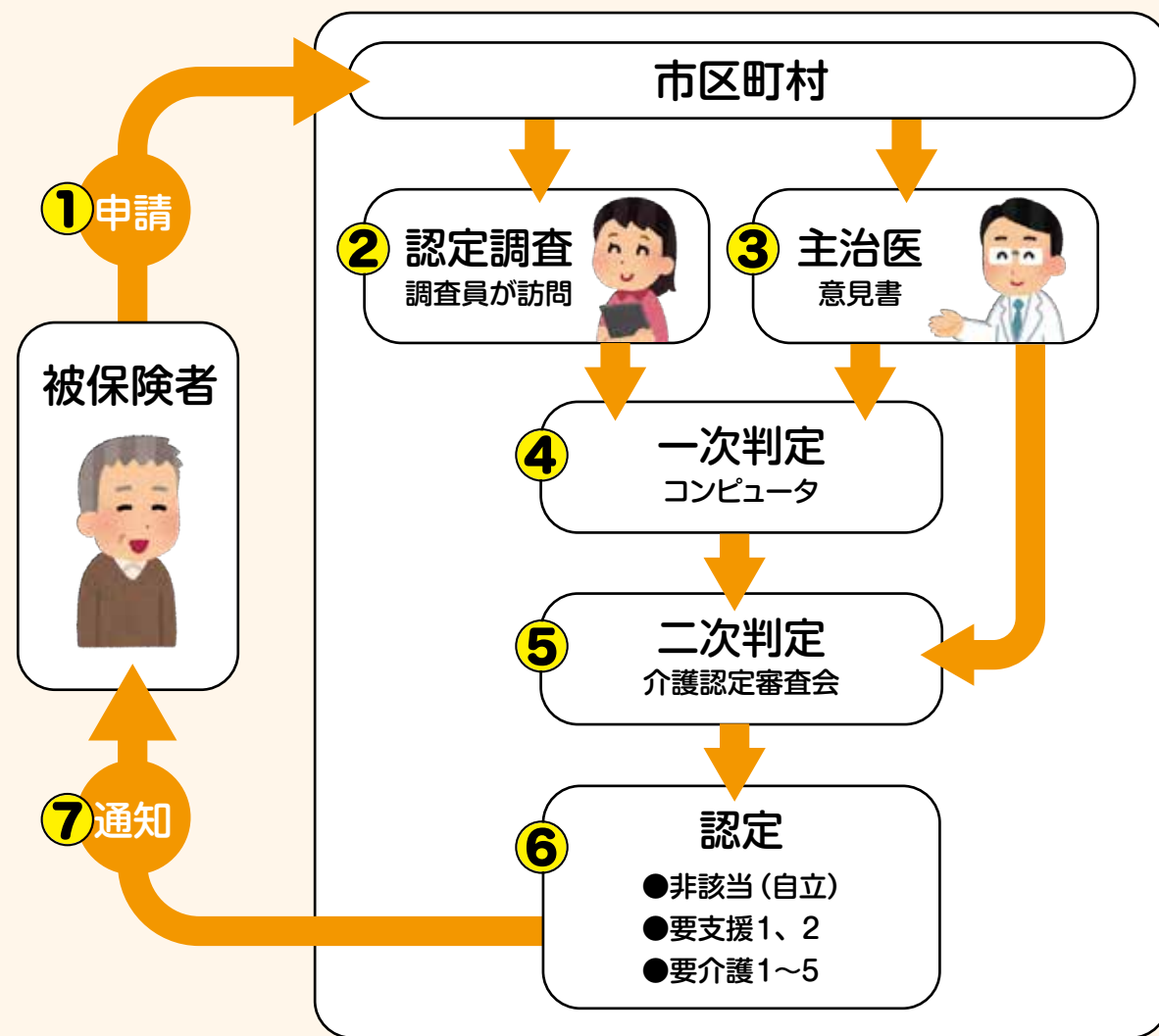
基幹労連は2003年に、鉄鋼、造船重機、非鉄の3産別が統合し誕生した産業別労働組合です。2014年には建設連合の仲間も加わり幅広いものづくり産業の労働組合として鋭意努力を続けています。

略歴にありますように会社生活の過半を組合役員として過ごしてきましたが、最初の単組執行委員時代に福祉対策を担当した時から全労済との関わりが始まります。3セツ共済の推進を担当し、その当時新しく始まった「ねんきん共済」の推進活動にも携わりましたが、まだ老後生活への備えにそれほど組合員の関心がなく、職場説明会や開設した専用の組合窓口の閑散具合に落ち込み、全労済担当者と思いを込めたことが懐かしい思い出です。企業連本部でも6年担当した総務部長の時も全労済の窓口でしたので、多くの全労済職員の皆さん

と共済事業の推進に汗をかきました。また、阪神淡路大震災も自らの価値観を大きく変える出来事でした。私は神戸市の葺合工場出身ですが、震災当時は東京の連合会本部に勤務しておりました。そのため、直接は被災しなかったのですが、工場は壊滅し現場仲間が甚大な被害に遭いました。全労済も労働組合もそしてボランティアも天変地異にどう対処するのか！を突きつけられました。その後大きく意識も仕組みも変わっていくきっかけとなったと思います。私自身、助け合いと備えについて考えを深めさせられその後の運動の礎となりました。

自らの経験ですが、組合役員は労働条件と職場環境対応が主で、素人知識しか持ち得ない共済事業については従という感覚になりがちです。自らの安心と相互扶助・助け合いの大切さを幅広く共有化できるよう、そして組合役員にしっかり推してもらえよう、微力ですが尽力していきたいと思っておりますので、皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

図1 ●要介護(要支援)認定のプロセス



今回は老親介護の備えについて触れましたが、次回(後編)は、仕事との両立について触れていきます。

申請書にかりつけの医師の名前が記載されるとその方が主治医になりますが、**かかりつけの医師とは異なる医師の名前が記載されると、家庭の介護事情が正しく伝わらないので注意が必要です。**

診療や往診してもらえないような、本当の主治医を持つと安心です。また、老親と離れて暮らしている場合は、普段から健康状態やこの病院に通っているのか、かかりつけの医師の名前を確認しておくと同時に、兄弟姉妹でもその情報を共有しておきましょう。兄弟姉妹の誰が認定申請しても、老親のかかりつけの医師の名前を書けるようにすることが大切です。

調査が終わると、市区町村は**申請書に記入してある主治医**に意見書の作成を求めます(図③)。先述の聞き取り調査の結果が反映されるのは介護認定における一次判定(図④)ですが、主治医の意見は一次判定と二次判定(図⑤)に反映されるため、認定結果(図⑥)への影響は大きくなります。

専門調査員は食事や入浴、日常生活動作など申請者の心身の状態を聞き取り調査します。本人の体調が良い時間帯を選び、家族など介護する人が同席するといでしょう。なお、調査は公平を期するため、全国共通の調査票により調査員がチェックしていきます。本人の目の前で言いにくいことなどは、メモをして調査員に見てもらおうといでしょう。

2、要介護1～5に応じて利用できる介護サービスの限度額が変わります。

専門調査員は食事や入浴、日常生活動作など申請者の心身の状態を聞き取り調査します。本人の体調が良い時間帯を選び、家族など介護する人が同席するといでしょう。なお、調査は公平を期するため、全国共通の調査票により調査員がチェックしていきます。本人の目の前で言いにくいことなどは、メモをして調査員に見てもらおうといでしょう。

ファイナンシャル・プランニング講座

介護と仕事の両立に向けて

前編

老親介護の備え



生活経済研究所長野 事務局長
CFP®認定者 塚原 哲

生活経済研究所長野 投資助言・代理業
登録番号 関東財務局長(金商)第629号

1998年精密機器メーカーの労働組合役員に就任、2001年に労働組合専門のシンクタンク「生活経済研究所長野」を設立、2006年日本FP協会長野支部・支部長、2012年関東ブロック副ブロック長を歴任、2014年7月から日本FP協会評議員に就任。全国で労働組合関連団体のライフサポート活動の立ち上げに従事。

近年、労使共通の課題は老親介護に伴う離職者の急増です。今後は団塊世代が介護対象年齢に入るため、一層の課題となることが予想されています。

一方で老親介護については備えの効く分野でもあります。そこで本連載では2回にわたり、介護と仕事の両立について取り上げます。



1 本場に役立つ公的介護保険制度

公的介護保険制度は「さまざまな有料の介護サービス」を9割引で使える制度です。例えば、介護サービスに今月30万円かかるとすると、9割引、すなわち自己負担を3万円(1割、一定以上所得者は2割)にしてくれます。ただし、毎月の介護保険料を納めていれば誰でもすぐに9割引でサービスを使えるわけではなく、要介護認定(要支援認定)を受ける必要があります。

2 どうに相談すればいいか?

介護に関する困りごとがある時、とても頼りになる相談窓口が「地域包括支援センター」です。市区町村が設置し、市区町村またはその委託を受けた事業者が運営しています。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員という高齢者福祉の専門家が常駐し、高齢者の生活介護に関するよろず相談を受け付けています。公的機関なので相談料や支援手数料などの費用はかかりません。地域包括支援センターは要介護認定の申請書提出などの

3 親のかかりつけ医の名前を調べておきたい

申請の手続き自体は簡単です。申請者本人または家族が市区町村の介護保険担当窓口を訪ねて書類一式を提出するだけ(図①)。この申請書には「主治医」という欄があります。

さて、皆さんは親御さんのかかりつけの医師の名前がわかるでしょうか。この欄にかかりつけの医師の名前を記入できるかどうか、後々の展開を大きく左右します。

書類一式を提出すると市区町村から連絡があり、専門調査員が介護サービスを使う申請者のもとを訪ねてきます(図②)。要介護状態かどうか、要介護状態ならどの程度なのかを判定します。その判定の段階(要支援1、

応募方法

編集部では皆さまのご意見やご要望を反映し、誌面の充実を図るため、読者アンケートを実施しています。ご応募いただいた方の中から抽選で10名様に「図書カード(1,000円分)」をプレゼントいたします。たくさんのご応募をお待ちしています。

- クイズとアンケートにお答えいただき、FAXで「zenrosai編集部宛」まで送信してください(2018年2月28日必着)。
- 「WEB-ZENROSAI」からもご応募いただけます。
- 当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
- このページをコピーしたものを、FAXしていただいても構いません。

●FAX番号▶03-5351-7328

●WEB-ZENROSAIアドレス▶<http://www.zenrosai.coop/web-zenrosai>

クイズ □の中の数字をお答えください。

2017年9月全労済は組織改革を実行し、
46単位本部から□つの統括本部に再編しました。

Q1 WEB版「WEB-ZENROSAI」をご覧になりましたか?

(□に✓印をつけてください)

☐見た ☐まだ見ていない ☐身近にインターネットの環境がない

Q2 WEB版「WEB-ZENROSAI」について、どう思われますか。〈複数回答可〉

(□に✓印をつけてください)

☐多くの人が見ることができて良いと思う ☐リアルタイムや双方向の情報発信に期待する
☐便利な機能を充実させて欲しい ☐情報の流出などが心配 ☐見るができないので関係ない

Q3 〈WEB版について〉冊子版と比べてのご感想をお聞かせください。〈複数回答可〉

(□に✓印をつけてください)

☐パソコンから利用できて便利 ☐便利な機能がたくさんあって良い ☐デザインが良い
☐使い勝手が良くない ☐アクセスしにくい ☐見ていないので分からない
☐冊子の方が利用しやすい ☐その他()

Q4 今号の記事の中で興味を持たれた記事はありますか?〈複数回答可〉

(□に✓印をつけてください)

☐トップインタビュー ☐特集・2017年度 全労済はここが変わります! ☐広域労組における共済制度推進の実例
☐全労済中央推進会議NEWS ☐ファイナンシャル・プランニング講座 ☐訪問先のご近所グルメ ☐特になし

Q5 〈冊子版について〉内容についての総合的な満足度はどの程度ですか?

(□に✓印をつけてください)

☐満足 ☐やや満足 ☐普通 ☐やや不満 ☐不満

Q6 上記「Q5」の理由や、その他ご意見があればご記入ください。

お名前※	フリガナ	団体名	〒	住所※	電話番号 () -
※は必須項目です。必ずご記入ください。 ●個人情報の取り扱いについて:ご記入いただいた個人情報については、プレゼントの発送以外の目的には使用いたしません。					

FAX送信先 機関誌「zenrosai」編集部(全労済 組織推進部 職域推進課) **FAX03-5351-7328** (番号のお間違いにご注意ください。)

全労済の推進担当が、
協力団体からご紹介いただいた
名店・隠れた穴場をレポートします。

東京・人形町 月島もんじゃ もんじゃらけ

私が
オススメ
します!

全労済 組織推進部 産別推進課

金子 将直

日本私鉄労働組合総連合会(私鉄総連)よりご紹介いただきました。「もんじゃ焼き」専門店と思われるがちですが、独自ルートで仕入れた築地の希少な魚介類や絶品ホルモン等を使用した「鉄板焼き」がメインのお店です。特に、『鮪脳ステーキ』はマグロ一頭につき2つしか取れない希少部位を使用し、鉄板でレアに焼いておろしポン酢で食べる、他のお店ではなかなか食べられない一品です。また、『鮪テールステーキ』は、鮪の尾を輪切りにし、にんにくチップを使用しているため、ビールとの相性も良く、インスタ映えも間違いなし! 是非一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



おすすめの「鮪脳ステーキ」



「鮪テールステーキ」



お店の外観



☎03-6231-0098

東京メトロ日比谷線・都営浅草線「人形町」駅 徒歩3分
都営新宿線「浜町」駅 徒歩4分

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町16-5
SGビル B1F

〔営業時間〕月～金 ●17:00～23:00
日曜日 ●16:00～21:00
〔定休日〕土曜日

けっこう使える
だから おすすめ!

「お金を引出す時の手数料って、
なんかもったいない!」

わかる!わかる!
でも、ろうきんなら
ATMの引出し手数料
0円だよ。

ろうきん
ATMお出し
手数料

ろうきんのキャッシュカードなら

セブン銀行

イオン銀行

コンビニATM

ATM

VIEWALTE

のATM手数料が 0円

さらに!

全国の銀行・ゆうちょ銀行・信用金庫などで使えて
ATMお出し
手数料を即時

キャッシュバック!

“子どもから大人まで、それぞれの世代で楽しんでいただける”



全労済文化フェスティバル2018

会場 ■ 全労済ホール/スペース・ゼロ

(東京都渋谷区代々木2-12-10 全労済会館1F)

「次代を担う子どもたちとご家族に、
良質な文化芸術に触れ豊かな心を育てていただきたい」…
そんな願いを託し厳選した作品です。

各公演の詳細は、組員特典ページをご覧ください。
<https://www.zenrosai.coop/ss/member2/index.php>

山崎パニラの 活弁大絵巻 2018 ~突貫マザー~

●出演：山崎パニラ
●演出：第一部『子宝騒動』
(松竹キネマ蒲田撮影所作品)
第二部『臨時雇の娘』
(パテ・エクスチェンジ・アソシ
エテッド・エキシビターズ作品)

3月18日(日) 14:00

※5歳未満のお子様でもお席が必要
な場合はチケットが必要です。

※上演時間
約2時間
休憩10分含む



料金(消費税込)	全席自由
■一般前売	3,000円
■全労済組員	2,400円
■子ども券(5才~小学生)	1,500円
■全労済組員子ども券	1,200円
■一般当日	3,000円
■子ども券当日	1,500円

Pカンパニー公演

鎮魂歌

レクイエム



●原作：ドストエフスキー「罪と罰」より ●脚本・演出：木島 恭

3月22日(木) 19:00

3月23日(金) 14:00

3月24日(土) 14:00

19:00

3月25日(日) 14:00

3月26日(月) 14:00

※未就学児入場不可

料金(消費税込)	全席指定
■一般前売・当日共	5,000円
■シニア(65歳以上)	4,000円
■学生割	3,500円
■特等席	2,500円

※シニア・学生割・特等席はPカン
パニーのみで販売。要身分証明
書。前売当日とも同料金。

春風亭一之輔 独演会

●出演：春風亭一之輔

3月28日(水) 19:00 ※未就学児入場不可

料金(消費税込)	全席指定
■一般前売・当日	3,000円
■全労済組員	2,000円



写真キッチンミル

ピュアーマリー 殺しのリハーサル



あゝ「刑事コロンボ」のレビンソン＆リンクの最高傑作!

●原作：リチャード・レビンソン/ウィリアム・リンク
●脚色：D. D. ブロック ●演出：鈴木孝宏 ●翻訳：保坂磨理子
●出演：山口馬木也・サヘル・ローズ、他

4月12日(木) 14:00/19:00

4月13日(金) 19:00

4月14日(土) 13:00/17:00

4月15日(日) 13:00

料金(消費税込)	全席指定
■一般前売	7,500円

※未就学児入場不可

うかうか三十、ちょろちょろ四十

現代版・イソップ「約束…」



●原作：「うかうか三十、ちょろちょろ四十」井上ひさし 「約束…」田辺聖子
●演出：井上幸子 ●美術：若林由美子 ●音楽：マリオンネット(湯浅 隆・吉田剛士)
●出演：岡本和彦(約束)/安尾芳明(うかうか)
大橋友子/柴崎嘉彦/市橋亜矢子/栗原弘昌/亀井佑子/有田智也/長瀬円美/小立哲也

3月30日(金) 18:30

3月31日(土) 15:00

※小学生以下のご入場はできません。

料金(消費税込)	全席指定
■一般前売	4,530円
■全労済組員	3,620円
■当日	4,860円



音楽の絵本 親子のためのクラシックコンサート

4月1日(日) 14:00

料金(消費税込)	全席自由
■一般	2,000円
■子ども(3歳~小学生)	1,000円
■親子券(大人1名・子ども1名)	2,500円

※3歳未満のお子様でも
お席が必要な場合はチケットが必要です。



リサとガスパール THE MUSICAL

「ダンス!ダンス!ダンス!」

●原作：アン・ゲットマン & ゲオルグ・ハレンスレーベン ●演出・脚本：源井和仁

●出演：リサ役：大宮千莉/ガスパール役：古賀 瑠 他

※二人が可愛い衣装を身に付けてステージに立ちます。

4月5日(木) 18:00

4月6日(金) 14:00/18:00

4月7日(土) 13:00/17:00

4月8日(日) 13:00/17:00

料金(消費税込)	全席指定
■大人	5,500円
■小人(小学生以下)	3,900円

※2歳未満のお子様でもお席が必要な場合はチケットが必要です。 © HL © TS



ご招待 各作品に50組100名様をご招待いたします

応募方法

①全労済ホームページ組員特典ページから★

②往復はがき 住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望公演名と希望日時(往復はがき1通につき1公演2名様まで)を明記のうえ、右記事務局「Z招待係」宛にお送りください。

応募締切

2018年2月15日(木) (ホームページの場合は当日発行有効、往復はがきの場合は当日消印有効)

当選発表

2018年2月25日頃、ホームページの場合はeメール、往復はがきの場合は返信はがきにてご連絡いたします。

ご優待

チケット料金の20%引きにて販売いたします

申込方法

①全労済ホームページの組員特典ページから★

②はがき 住所・氏名・電話番号・公演名・日時・枚数を明記のうえ、右記事務局「Z招待係」宛にお送りください。折り返し、事務局より代金のお支払いやチケット受取方法の説明書などをご郵送いたします。

申込締切

はがきでのお申し込みはご観劇希望日の14日前までにお申し込みください。

★ホームページからの、ご応募とお申し込みについて(パソコン、スマートフォンから)
<https://www.zenrosai.coop/ss/member2/index.php>
スマートフォンはこちらのQRコードもご利用ください▶

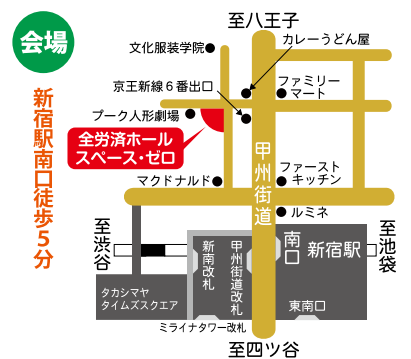
※本企画で取得した個人情報については、本企画に関連する業務に限ってのみ使用いたします。

お申し込み・お問い合わせ 主催 ● 全労済

TEL.03-3375-8741 (平日10時~17時)

全労済文化フェスティバル事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-10 全労済会館B1



組合員の皆さまへのお得な特典情報

Vol.98 JAN 2018

発行人 中世古 廣司
編集責任者 濱田 毅司

発行所

全労済(全国労働者共済生活協同組合連合会)
〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10 TEL.03-3299-0161(代表)